

レイチェル・カーソン生誕 111 年 「講演と音楽の集い」

- ◇日時：2018年 5月30日(水) 14:00~20:30
- ◇会場：北海道大学・遠友学舎(札幌市北区北18条西7)
- ◇記念ハーブ演奏：14:15~15:00
「センス・オブ・ワンダー^(注1)」などの美しいことばをハーブの音色にのせて
演奏：若菜 直美 氏
- ◇記念講演第1部：15:00~17:00
「いのちは誰のもの？—種子法廃止と私たち農家」
講師：荒谷明子さん・レイモンドさんご夫妻(メノビレッジ長沼)
- ◇記念講演第2部：18:00~20:30
「複合汚染から生命と健康を守るためのレイチェル・カーソンの遺産」
講師：児玉 順一 氏(医療法人山びこ会・こだま医院院長)

(注1)：レイチェル・カーソン著「センス オブ ワンダー」上遠恵子訳 新潮社

私たちレイチェル・カーソン北海道の会は、とりわけ未来をになう子どもたちに、自然の不思議さに目をみはる感性(センス・オブ・ワンダー)が育まれるように、多くの市民と共に環境問題を知り・考えるための活動を行っています。生誕111年、「沈黙の春」出版から55年の“この春”、レイチェル・カーソンが私たちに残してくれたもの、伝えたかったこと、今を生きるヒントは、ますます重要になってきました。

どうぞお気軽にご参加ください。

プログラム

- 14:00~14:15 開会の挨拶 沼田 勇美(共同代表)
- 14:15~15:00 若菜 直美 氏のハーブ演奏と歌の集い
- 15:00~17:00 記念講演 第1部 荒谷明子さん・レイモンドさんご夫妻
- 17:00~18:00 「レイチェル・カーソンの歩んだ道」パネル展示と説明ならびに懇談
- 18:00~20:30 記念講演 第2部 児玉 順一 氏
- 20:30~20:40 閉会の挨拶 近藤 務(共同代表)

会場の案内図

地下鉄南北線・北18条駅下車
西に向かって徒歩8分
13:30 開場いたします

資料代：500円
事前申込み不要

北大遠友学舎



至：札幌駅

主催：レイチェル・カーソン北海道の会

問合せ：沼田 ☎080-3265-4382 yummie624@hotmail.co.jp

レイチェル・カーソン北海道の会・HP：<http://gisjirou.blog.fc2.com>

講師のプロフィール

◆ 記念講演第1部 「いのちは誰のもの？ー種子法廃止と私たち農家」 荒谷明子さん・レイモンドさんご夫妻（メノビレッジ長沼）

レイモンド・エップさん（TPP を考える市民の会共同代表）

アメリカ ネブラスカ州出身

大学生の時、大規模農業が社会や環境に与える影響に疑問を持ち平和学を学ぶためカナダへ。地域に根ざしたパン屋を仲間と開設したり、CSA(地域で支え合う農業)の立ち上げに関わる。

荒谷明子さん

札幌出身

小学生の時に体験して以来、農業に魅せられ農業大学へ進むも、思い描く農業の世界と出会えず、教会主催の交流プログラムでカナダへ。園芸、パン作りなどを学ぶ。

1994年 結婚し米国ネブラスカ州で有機農業に取り組む

1995年 日本の教会の仲間とメノビレッジ長沼を設立

現在 お米3ha 小麦2ha 菜種1~2ha のほか蕎麦、大豆、野菜、卵用鶏を育てている
子どもは息子さん四人



◆ 記念講演第2部 「複合汚染から生命と健康を守るためのレイチェル・カーソンの遺産」

児玉 順一 氏（医療法人山びこ会・こだま医院院長）

高校の社会科の教師から、群馬大学医学部入学・埼玉医科大学勤務を経て、埼玉県ときがわ町でこだま医院を開院。福島原発の事故後は、内科の診療に携わりながら、放射能の低線量内部被ばくとそれによって生じる病気の研究をはじめ、「日本からの手紙」などの論文にまとめてきた。このなかで、レイチェル・カーソンの複合汚染への警鐘の先見性と現代的意義にも気づき、50年前からカーソンが放っていた光で現在の放射能汚染の世界を照らそうと、「レイチェル・カーソンの遺産」をまとめた。



◆ 記念ハーブ演奏「センス・オブ・ワンダー」などの美しいことばをハーブの音色にのせて・・・

若菜 直美 氏

1963年生まれ。北海道教育大学卒業。

1984年 PARCO 主催「第2回オルガン坂大賞」作曲部門審査員個人賞受賞。

1996年月刊『クエヨン』主催「子どもたちのうた大賞」佳作受賞。

2003年~2009年文化女子大学室蘭短期大学保育科専任講師。

小さなハーブとの出会いは今から約20年前。これまで、子どもと過ごす時間を歌にしたり、友人への贈りものにしたりと、暮らしの中で歌をつくってきた。



「レイチェル・カーソン北海道の会」からのお知らせ

私たちは、レイチェル・カーソン(1907-1964)の生誕100年の2007年5月から毎年、パネル展と記念講演会を開催しています。また毎月、定例学習会を行い同女史の思想、生き方を学んでいます。

定例学習会は北海道大学・遠友学舎で14:00~17:00に開催しています。
どなたでも参加できます。ご一緒に学習してみませんか。お待ちしております。



<モナーク蝶・オオカバマダラ>

北アメリカ大陸を数千 km に渡り移動する蝶であり、レイチェル・カーソンは自身の役割と余命を重ね合せていました。